

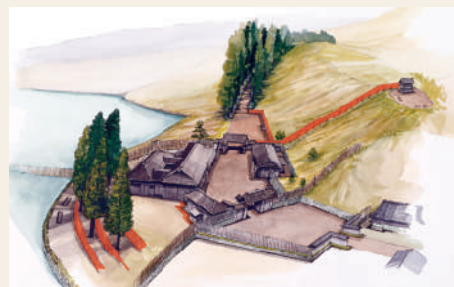
石垣の復元や修理進む

箱根関所建物を取り囲む

石垣や石段が次々に完成！



厩裏側斜面の石垣



遠見番所への石段



石垣や石段は、箱根関所絵図などの資料の分析や発掘調査の成果に基づき、江戸時代から続く伝統的な工法により忠実に復元や修理を行っています。

平成12年度から復元や修理を行っている石垣は、大番所・上番休息所（おおばんしょ・かみ

ばんきゅうそくしょ）と芦ノ湖との間にある土留めや建物の基礎となる石垣、厩（うま）の裏側の石垣、江戸口御門に繋がる山側や湖側の石垣、江戸口千人溜りの石垣、足軽番所の裏側や側面の石垣です。また、遠見番所へと続く石段や芦ノ湖へと

降りる石段の復元や修理も行いました。

さらに、今後は、大番所・上番休息所に続く正面の石垣、京口御門に繋がる山側や湖側の石垣、京口千人溜りの石垣の復元や修理を行っていく予定です。

調度品の復元なども順調に進む！

大番所・上番休息所の調度品などの復元や人形などの制作
箱根関所の復元工事では、建物や石垣などの復元を行うばかりではなく、
調度品の復元や人形などの制作も行っています。その成果の一部をご紹介します。

江戸時代に関所役人が書き残した『箱根御関所日記書拔（はこねおせきしょ）につきかきぬき』などを詳細に分析すると、箱根関所の各建物の中にはさまざまな調度品や武器・武具などが置かれていたことが分かりました。また、箱根関所には、どのような役割の役人や足軽などが何人いたかということも分かりました。そこで、現在、調度品や武器・武具の忠実な復元や人形・馬の制作を進めています。



馬の制作



人形の制作



調度品の復元



現地説明会を継続実施！

箱根関跡の保存整備の状況の説明会を継続して行います。

公開日（毎月 第4水曜日）説明時間は30分程度を予定しています。

- 平成15年 3月26日（水曜日） 午前10時から／午後2時から
- 平成15年 4月23日（水曜日） 午前10時から／午後2時から
- 平成15年 5月28日（水曜日） 午前10時から／午後2時から
- 平成15年 6月25日（水曜日） 午前10時から／午後2時から
- 平成15年 7月23日（水曜日） 午前10時から／午後2時から
- 平成15年 8月27日（水曜日） 午前10時から／午後2時から

昭和40年に開設した御番所は、その下の発掘調査を進めるために、一部を京口千人溜りの湖側に移設をして、箱根関所資料館と共に営業をしています。



箱根関所の厩

関所小咄

江戸時代、箱根関所に建てられていた厩（うまや）には5頭の馬を繋ぐことができていました。しかし、実際には2頭しかおらず、空いた場所には、関所の周りに廻らされた木柵の予備や外掃除の道具、火を消す道具などが納められていました。厩は、納屋と兼用だったようです。



箱根町教育委員会生涯学習課
箱根関所整備事業推進室

TEL 0460-5-7601

<http://www.hakonesekisho.jp>